

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	橈骨遠位端骨折術後患者における自主練習アドヒアランスの阻害要因に関する後ろ向き観察研究 (承認 No. 2026-054)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	整形外科リハ科・科長・櫻井利康
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	手首の骨折（橈骨遠位端骨折）の手術後は、リハビリ室での練習だけでなく、ご自宅での「自主練習」を毎日続けることが、手首の動きや日常生活動作を早く元通りにするために重要です。しかし、手術後すぐの時期は、痛みや心理的な不安などが原因で、自主練習を十分に行えない方が少なくありません。本研究では、過去のデータから「自主練習の妨げになる原因（強い痛みや心理的な不安など）」を明らかにします。これにより、練習が遅れそうな患者さんを早い段階で見つけ出し、一人ひとりに合わせた丁寧な指導や、適切な痛みのケアにつなげることを目指しています。
調査データ該当期間	2020 年 8 月から 2022 年 7 月まで
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 上記期間内に、当院にて手首の骨折（橈骨遠位端骨折）に対し、掌側ロッキングプレート固定術を受けられた方。 ●利用する情報 過去の診療録（カルテ）およびリハビリテーション記録から、以下の情報を抽出して使用します。 基本情報：年齢、性別、利き手、受傷から手術までの日数 骨折の情報：骨折のタイプ、けがの原因（高エネルギー外傷の有無） 痛みのデータ：手術翌日の痛み（安静時・動かした時） 心の状態のデータ：手術前後の不安、落ち込み、痛みへの捉え方に関するアンケート結果 リハビリのデータ：手術後 6 週間ご自宅で行った自主練習の記録、作業療法の実施回数。 ●研究期間：2026 年 9 月 10 日～2028 年 3 月 31 日
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	お預かりしたデータおよび情報は厳重に管理し、学会や学術雑誌等で発表される場合でも、個人が特定される情報は一切使用いたしません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	相澤病院 整形外科リハ科 科長 櫻井利康 Tel：0570-03-3600(代表)
備考	本研究の対象となる方で研究不参加を希望される場合、ご自身の情報を「研究に利用しないでほしい」と希望される場合は、上記のお問い合わせ先までご連絡ください。ご辞退された場合でも、今後の治療やリハビリテーション等において不利益を受けることは一切ありません。